

Borderless IR Co., Ltd Announces Newsletter

2017年8月17日

株式会社ダイキアクシス(4245 東証1部) 2017年12月期第2四半期決算報告の概要

決算概要

○本年度は、2016年度から2018年度にかけての中期経営計画「V-PLAN 60」のHOP-STEP-JUMPのSTEPの年に当たり、当期はHOPの年の戦略を引き続き強化し、JUMPの年につながる取り組みを開始している。

○事業の多様化と海外展開の加速に対応するため、事業本部制を導入した。グローバル事業本部を新設し、傘下に海外子会社を置き、代表取締役社長自らが当該事業本部長として陣頭指揮を執ることで、海外展開のスピード化を図っていく。

○今後のM&Aや海外での生産設備の新設や増強に機動的に対応するため、コミットメントライン契約(2020年3月31日まで)の資金調達枠を従来の80億円から30億円増額し、110億円に拡大した。

○2017年第2四半期連結累計期間の売上高は、166億37百万円(前年同期比103.9%)、営業利益は5億90百万円(前年同期比123.7%)、経常利益は6億48百万円(前年同期比109.0%)となった。特別損失においては、減損損失15百万円(大分市の上水プラントの採算悪化に伴う減損処理)等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億79百万円(前年同期比101.8%)となった。

○環境機器関連分野事業においては、浄化槽排水処理システムが前年同期と比べて増加、特に、海外売上高は大型案件の完成により前年同期より大幅に増加した。売上高は86億86百万円(前年同期比109.0%)、セグメント利益(営業利益)は7億62百万円(前年同期比133.5%)となった。

○住宅機器関連事業は、住機部門工事が前年同期と比べ外壁工事の減少により、売上高は74億47百万円(前年同期比96.8%)、セグメント利益(営業利益)は2億69百万円(前年同期比102.6%)となった。

○その他の事業については、BDF プラントの販売がなかったものの、小形風力発電機関連事業において、前年同期は実績がなかったところ、この第 2 四半期に販売が実現した。また、第 1 四半期に株式会社岸本設計工務を子会社したことから、この第 2 四半期に同社の 4 月以降の実績を取り込んだ。結果、売上高は 5 億 3 百万円（前年同期比 143.8%）、セグメント損失（営業損失）は、17 百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）15 百万円）となった。

[株式会社ダイキアクス（4245 東証 1 部）](#) の 2017 年 12 月期第 2 四半期決算短信については、こちらをご参照ください。

<http://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03821/cac4dd2b/0b4e/4cd4/859e/c451327fdade/140120170807450748.pdf>

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

リリースに関する照会先

[Borderless IR 株式会社](#)

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

T E L 03-4588-6706

info@b-ir.co.jp

Borderless IR は、海外向け I R 情報配信専門の会社です。世界有数のメディア、企業情報データベース、マーキングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な強みを主としてニューズレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外 I R 支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。